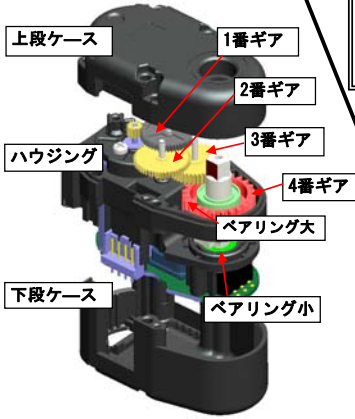


■ wCK パートの名



※ wCKモジュール ギア破損時の交換方法

モデル : [wCK-1108K/T] [wCK-1111K/T]

■ 注意事項 :

- 1) wCKモジュールのギア交換には、ある程度のテクニックが必要です。自信がない方は販売店にお問い合わせください。また製品を分解したことにより発生する問題については、保証期間内であっても無料サポートの対象外となりますのでご了承ください。市販のグリス(ギアの回転を滑らかにするためのもの)をご用意ください。
- 2) ギア交換の際は、必ずモデルに適合したギアを使用してください。
 - モデルは、ケースに貼られたステッカーに記載されています。(ステッカーは、上段と下段ケースに1枚ずつついています。)
 - 銀色のステッカー、wCK-1108 (K/T)
 - 金色のステッカー、wCK-1111 (K/T)
- 3) 5710K, 5720T-S02 キットは、次のように構成されています。
 - wCK-1111 4個 (ID 2, 3, 7, 8)
 - wCK-1108 12個 (ID 0~1, 4~6, 9~15)

■ 製品写真

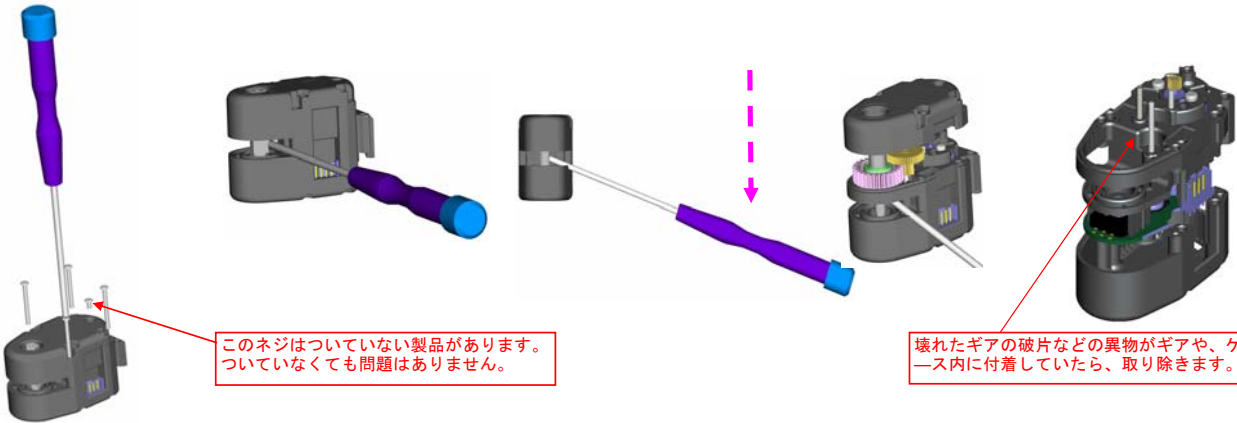
wCK-1108K wCK-1111K



■ ギアの種類

	wCK-1108 (K/T)	wCK-1111 (K/T)
1番ギア	wCK-1108, wCK-1111 共通	
2番ギア	wCK-1108 専用	wCK-1111 専用
3番ギア	wCK-1108 専用	wCK-1111 専用
4番ギア	wCK-1108 専用	wCK-1111 専用

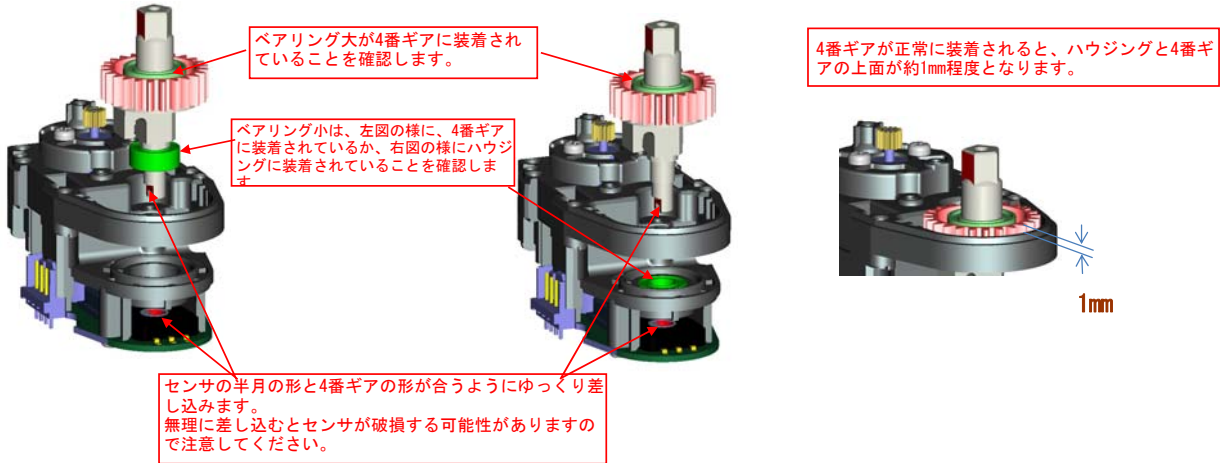
- 1) プラスドライバーで5つ(4つ)のネジを外します。
- 2) プラスドライバーを図のように4番ギアの溝へ入れます。
- 3) プラスドライバーを下へ押し、上段ケースを上げ分離します。
- 4) ギアをすべて外し、下段ケースを分離します。



このネジはついていない製品があります。ついていなくても問題はありません。

壊れたギアの破片などの異物がギアや、ケース内に付着していたら、取り除きます。

- 5) 4番ギアの歯にグリスを付け、図のように組み立てます。



ベアリング大が4番ギアに装着されていることを確認します。

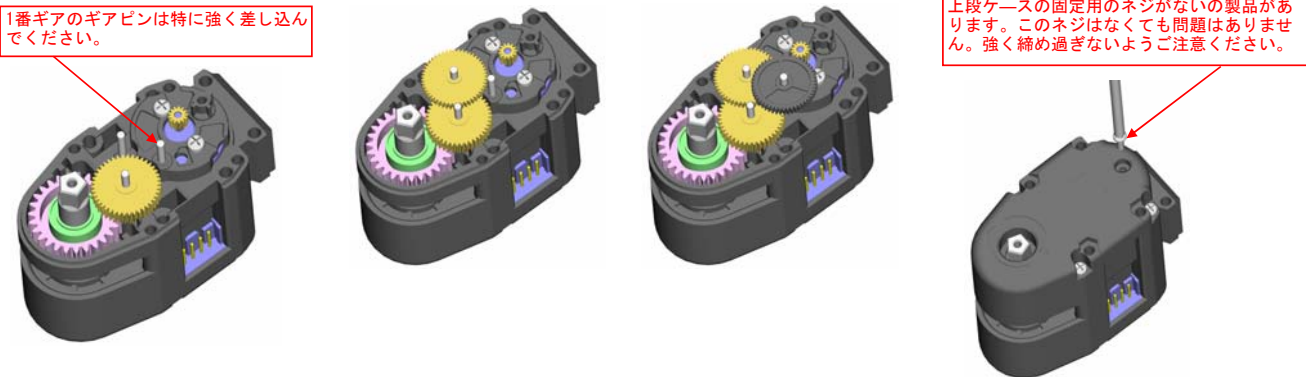
ベアリング小は、左図の様に、4番ギアに装着されているか、右図の様にハウジングに装着されていることを確認します。

センサの半月の形と4番ギアの形が合うようにゆっくり差し込みます。無理に差し込むとセンサが破損する可能性がありますので注意してください。

4番ギアが正常に装着されると、ハウジングと4番ギアの上面が約1mm程度となります。

1mm

- 6) 下段ケースを組み立て、ギアピン3個をハウジングに装着します。更に3番ギアの歯にグリスをつけ、取り付けます。
- 7) 2番ギアの歯にグリスをつけ、取り付けます。
- 8) 1番ギアの歯にグリスをつけ、取り付けます。
- 9) 上段ケースを組み立て、4つのネジを締めます。最後に上段ケース固定用のネジを締めます。



1番ギアのギアピンは特に強く差し込んでください。

上段ケースの固定用のネジがないの製品があります。このネジはなくても問題はありません。強く締め過ぎないようにご注意ください。